

東京湾水質一斉調査について



東京湾再生推進会議モニタリング分科会、八都府県市首脳会議環境問題対策委員会水質改善専門部会及び東京湾岸自治体環境保全会議が主催で、平成 21 年 8 月 5 日に東京湾水質一斉調査が行われました。

赤潮や青潮の発生メカニズム、貧酸素水塊の分布など東京湾全体にわたる汚濁状況や汚濁メカニズムについては、十分には把握されていない状況にあります。そこで「東京湾水質一斉調査」は、東京湾とその流域の水質環境の把握及び汚濁メカニズムを解明するため、国・自治体・研究機関などとの連携をはかり、赤潮、青潮、および貧酸素水塊が発生する夏季に、一斉に各地の水質調査を実施するもので、平成 20 年度から実施されています。

今回の参加機関は 141 機関で、調査地点は陸域が 357 地点、海域が 286 地点の計 643 地点でした。

調査項目(共通項目)としては

海域:溶存酸素量(DO)、水温、塩分

陸域:化学的酸素要求量(COD)、水温、流量

になります。

当社では、排水における生活環境項目の分析や他の分析において長年の実績があり、多検体・短納期分析を行っております。お気軽にお問い合わせください。

資料 2009 年 7 月 29 日付 環境省報道発表資料
EICネット

水質分析箇所 小林優香